

天へと昇って行かれても

先週の木曜日は、教会の暦で「昇天日」と呼ばれる日でした。「昇天日」というのは、イエス様が天に昇って行かれたことを記念する日です。イエス様は十字架で死なれた後、復活されますが、そのイエス様は40日にわたってお弟子さんたちに現れて、神の国について話されました。そして、「聖霊が降るのを待ちなさい。聖霊が降ると、皆さんは力を受けますよ。そして地の果てに至るまで私の愛と福音を伝えるために遣わされていきますよ」と言い残して、お弟子さんたちが見ている前で天へと上げられて行ったのです。先週の木曜日はちょうどイースターから40日目ということで、今からおよそ2000年前のこの日にイエス様はこんな風に天へと昇って行かれたのでした。では、このイエス様の昇天の出来事は今を生きる私たちにとってどのような意味を持っているのでしょうか。今日はこのことを皆で一緒に考えていきたいと願います。

今日はマタイによる福音書とルカによる福音書、二つの箇所をお読みいただきましたが、ルカによる福音書24:50～53には、手を広げながら天に昇っていくイエス様のお姿が描かれています。そして、イエス様のお弟子さんたちは天にあるキリストを見上げ続け、それから元の生活に戻って神様をほめたたえ、イエス・キリストを通して現された神様の愛と福音とを人々に伝えるために遣わされていったのでした。イエス様の昇天の出来事、それは時間と空間を超えてイエス様がこの世界のすべての人々の救い主となられたということです。イエス様はイエス様の時代の、イエス様が生きておられた地方の、そしてユダヤ人だけの救い主では決してありません。イエス様は天に昇られることによって、すべての時代の、すべての国の、すべての人々を愛される救い主となられたのです。

そして今日のもう一つの聖書箇所、マタイによる福音書28:16～20ではイエス様が天へと昇って行かれたという直接の記事はありません。その代わりに「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」(マタイ28:20)というイエス様の力強い宣言でイエス様のお話が終わっています。イエス様はそのお姿は見えなくなるけれど

も、離れて行かれるのではなく、「共にいる」のだということをマタイは強調したかったのでしょう。

マタイによる福音書ではイエス様誕生の場面で、イエス様について、「その名はインマヌエルと呼ばれる」と書いてあります。「インマヌエル」というのは「神は我々と共におられる」という意味です。イエス様こそ神様が人間と共におられるということを証しする存在であると聖書は力強く宣言しているんですね。実際、イエス様のその生涯は苦しむ様々な人と「共におられた」生涯でした。苦しむ人々に徹底して寄り添い、愛し、「共にいる」、そのことを実践された生涯だったのです。それは、イエス様が天へと昇って行かれて、私たちの目には見えなくなっても続いていきます。今は神様もイエス様も目には見えないけれども、イエス様は神様と一つになって、聖霊という見えない姿で、時間も空間も超えて私たちと一緒にいてくださるのです。そして、私たちを愛し、守り、育ててくださいます。

では、私たちはそのこと、つまりイエス様が目には見えなくても、確かにいつも私たちと一緒にいてくださっているということをどのようにして感じる事ができるのでしょうか。それは、私たちが互いに愛し合うことだと思います。

以前にもお話したことがあったかもしれませんが、前の教会で私が事務室でうんうんと唸りながら礼拝の説教を考えていた時に、幼稚園の園児がチョコレートと飴を小さな手に乗せて私に差し出してくれたことがありました。とてもほっこりと心が和んで、励まされるとともに、私がこうやってうんうん唸りながら考える説教よりも、私に差し出してくれるこの子のこの小さな手の方が、遥かに神様の愛を伝えてくれるなと思った次第です。この子と私の温かな交わりを包み込んで、神様、イエス様が一緒にいてくださっているなあと感じることができました。

ほんの小さな愛でも、神様、イエス様が私たちと一緒にいてくださっていることを伝えるには十分な力があります。そういう風にして愛でもって神様、イエス様の存在

を伝えていくことを「伝道」と言うんですね。来週はペンテコステという教会の大きなお祭りの日です。教会の誕生日、教会の伝道が始まったことを記念する日です。この日からまた教会が伝道に励むことを大切にするシーズンが始まっていきます。天に昇って行かれたイエス様のその温かなお見守りのもと、身近な人を思い切り愛して、「目には見えないけれども、神様、イエス様は確かにそばにいてくださっているなあ、私たちのこの交わりを見守ってくれているなあ」ということを伝えていきましょう。そして、神様の愛の輪を世界中に広げていきたいと願います。

祈りましょう。 ——以下、祈祷——